

精神科リエゾンチームの患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、2015年から精神科リエゾンチームが発足し、入院中の、術後せん妄等でお困りの患者さんに、医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士による専門的なサポートチームとして関わっております。

また、2018年からは、「外来からせん妄予防プログラム」を開始し、せん妄をおこすリスクが高い患者さんやそのご家族に、せん妄パンフレットを通し予防対策をご案内したり、せん妄が起こってしまった場合は、早急に精神科リエゾンチームと連携できるように、病院全体でこの取り組みの周知を図るため医療者教育の強化を図っているところです。

つきましては、これらの活動の実態を調査するために、倫理審査委員会承認後から2021年12月31日までの間に、精神科リエゾンチームがサポートを行った患者さん（予定数900例）に対して、チームがせん妄を起こす可能性の高いどのような依頼内容に対してどのような対応をしたかに関するデータを電子カルテの記録より集めまとめる予定です。

なお、この研究は、通常の日常診療で得られる結果を集めるものですので、新たに特別な治療や検査が行われることはなく、患者さんに何らかの利益または不利益が生じることはありません。また、結果は学会発表をする予定ですが、患者さんの住所・氏名などの個人を特定するような情報は一切なく、また、当院の研究担当者以外の第三者に知られることもございません。

さらに、この実態調査研究は、関西医科大学総合医療センターの倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、許可を受けておりますことを、皆様方に、ここでご説明させていただきます。

私達は、実態調査の結果を下に、得られた課題を、今後のチーム医療の質の向上につなげることで、患者さんとそのご家族様方により良い医療を提供できるよう研鑽を積み重ねてまいります。何卒、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【研究課題名】

当院の精神科リエゾンチームにおける「外来から始めるせん妄予防プログラムの実際」
～3Dケアをリエゾンナース研修に導入した啓発活動と共に～

【研究目的】

「外来から始めるせん妄予防プログラム」導入後の3ヵ年における精神科リエゾンチーム活動の実際を明らかにすることを目的にしています。

【研究期間】

倫理審査委員会承認後～2021年12月31日

【研究の対象となる方】

倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの3か年に精神科リエゾンチームが介入した患者さん

【研究に用いる情報の種類】

情報：疾患名・診療科別・性別・年齢別・精神科リエゾンチーム依頼件数・依頼の内容・介入日数・介入終了日・介入内容・介入終了時の状態など、個人が特定される情報は一切ございません。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【お問い合わせ先】

関西医科大学総合医療センター 看護部 精神看護専門看護師 吉井ひろ子

大阪府守口市文園町10番15号 電話 06-6992-1001（代表）